

# 日本共産党

4月9日川崎市議選

川崎区の市会は  
あなたの一票を

# 後藤

# まさみ

ごとう 真左美

## プロフィール

1966年横浜市生まれ。法政大学社会学部卒業。中央ろうきん、県建設国保、党衆院秘書など勤務。市議1期。大都市税財政制度調査特別委員会委員、総務委員会委員。家族は母。東門前在住。趣味フラダンス。

誰もが安心して心豊かに暮らせる川崎へ

私は、この4年間、市民のみなさんの声から学び、一緒に考え行動しながら、切実な声を議会に届け、改善に向けて全力を尽くす、このことを大切にして取り組んできました。

シングルマザーの支援、中小建設業への支援、羽田新飛行ルート中止、JFEスチールの高炉休止に伴う雇用と地域経済の支援…取り組みは道半ばです。政令市トップの豊かな財政力を活用して、いのち・くらし・憲法を守る川崎へ、心豊かに安心して暮らせる川崎へ、力を合わせてつくっていきます。引き続き、身近な議員として働かせてください！

国保料・介護保険料引き下げ  
学校給食を無料に

後藤まさみ  
公式LINE



後藤まさみ

検索



<http://goto-masami.jp/>

証紙

# 後藤まさみは 市政を前に動かします!!

共産党の11議席で  
市民の願いを実現しました



- 18歳まで医療費無料に  
全国では約半数の自治体がすでに実施
- 学校給食費を無料に  
東京23区の1/2が実施予定
- 高すぎる国保料の引き下げ  
こどもの均等割なくし、1世帯年額1万円減額
- 特養ホームの待機者ゼロ、  
介護保険料の減額を
- 高齢者の補聴器費用の  
助成制度創設
- 市営住宅の増設、  
若者に家賃補助制度を  
当面、月1万円補助
- 中小企業・建設業に  
市独自の直接支援を
- 痴漢ゼロ・ヘイトスピーチは許さない
- 羽田新飛行ルート中止へ
- 地球温暖化対策、  
脱炭素化を推進し、  
経済・雇用活性化を



## 子育て・福祉・優先の市政へ

### こどもの医療費

### 中学卒業まで拡充が実現!

2022年9月議会で、市長が拡充を約束。これまで40万筆以上の市民団体の署名が寄せられ、市議団が議会で述べ115回の質問を続けた成果です。9月から実施の予定ですが、1回500円の一部負担金は、そのままです。川崎市で18歳まで一部負担金を撤廃して医療費無料にするよう、さらに拡充をめざします。

- 産後ケア事業の拡充
- 認可保育園の増設
- 学校に事務支援員・障害者就業員の配置が実現
- 学校トイレの快適化が全校終了 など

### 市民の命、暮らしを守る

- 新型コロナ対策の要望書を  
第15次(2020年から2022年)まで市長に提出
- 学校の各教室にCO<sub>2</sub>モニター設置が実現
- 発熱外来が全行政区の休日急患診療所に拡大
- 台風19号(2019年)の被災者支援策  
30万円給付など実現
- 駅のホームドア設置実現、開かずの踏切対策 など

### 市民の願いに対する各党の態度は…

### 他党とここが違う!

#### 川崎市議会で、国の意見書、請願への主要会派の態度

2020年度以降の定例議会から抜粋 (○賛成 ×反対)	共産	自民	公明	みらい	無所属
選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書(2020年12月)	○	×	×	×	2名0
核兵器禁止条約の署名を求める意見書(2021年3月)	○	×	×	×	1名0
高齢者の医療費窓口2割負担廃止を求める意見書(2021年10月)	○	×	×	×	×
インボイス制度の実施中止を求める意見書(2022年3月)	○	×	×	×	×
川崎市独自の少人数学級推進を求める請願(2022年3月)	○	×	×	×	×
小児医療費助成制度の拡充を求める請願(2023年3月)	○	×	×	×	1名0
学校給食費の無料化を求める請願(2023年3月)	○	×	×	×	1名0

2022年12月議会では「旧統一教会による被害の救済・防止及び政治との癒着の掃蕩を求める国への意見書」を提案しましたが、他会派はすべて反対

共産党	自民党	公明党	みらい	無所属全員
○	×	×	×	×

### 財源はあります

### 市税収入は2年連続過去最大 財政力は政令市トップ

- 市のためこみ金(減債基金)2,529億円(2021年度末)
- 臨港道路1,475億円など不要不急の大規模事業の見直し

# 大軍拡ノー

## いま必要なのは対話の外交です

- 敵基地攻撃とは全面戦争への道
- 憲法9条を守り 平和なアジアへ

日本共産党の 後藤まさみ 候補へ一票をお寄せ下さい